

令和元年度第1回東成区区政会議（子ども・教育部会）

1 開催日時 令和元年6月18日（水）19時22分から20時13分まで

2 開催場所 東成区民センター6階 602集会室

3 出席者の氏名

【委員】

田中 良和（部会議長）、末光 京子、茶谷 儀夫、東方 宏祐、永門 武志、
福永 美和子、山口 晴康

【東成区役所】

井上 徳久（まちづくり・教育支援担当課長）、西山 明子（保健福祉課長）、松
穂 好純（まちづくり・教育支援担当課長代理）、岸野 伸浩（児童・保健担当
課長代理）、東本 國博（市民協働課担当係長）、石野 靖子（保健福祉課担当係
長）

4 委員に意見を求めた事項

平成30年度東成区運営方針の振り返りについて

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

【田中部会議長】 全員上がってきていただいたようなので、ただいまより議事を開始したいと思います。皆さん、こんばんは。どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪係長】 区政会議の定数が13名となっておりまして、7名が定足数になりました、今日来られるということでお返事いただいた方で来られてない方がおられますので、途中で確認させていただこうと思っております。定足数に足りない場合は、本日

の部会が勉強会ということになってしまうのですけれども、全体会のご報告をしていただきます。

【田中部会議長】 それでは、始めさせていただきます。この部会は教育環境と子育て支援の充実に関わって、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっております。これから、20時10分までの50分のうち、始めの15分ですが区役所からの説明がございます。その後、19時35分から20時までは、自由な意見交換の時間とさせていただきます。20時から10分間で部会の意見としてのまとめをしたいと思います。主にご覧いただく資料は資料2でございます。それでは、資料にしたがって、区役所から簡潔にご説明をお願いいたします。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 始めさせていただきます。教育部分につきまして、私、まちづくり教育支援担当課長代理の松穂の方より説明させていただきます。座ったままで失礼いたします。

まずそれでは、資料2の3ページをご覧くださいませ。「具体的取組2-1-1 学校等との連携強化」でございます。業績目標は「区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合80%以上」でございます。具体的な連携手法は下の具体的取組にございますように、意見交換会の実施14回などでございます。これらの取組みを通じまして、区の思いを一方的に学校に押し付けるようなことがないようにコミュニケーションをとるように努めてまいりました。結果といたしましては、目標の80%に対しまして93%で満足との答えを頂戴したところでございます。

続きまして4ページをご覧ください。「具体的取組2-1-2 子どもの体力向上」でございます。業績目標は「直接指導を行う授業等に参加した児童数1,300人」であります。対する実績でございますけれども、各小学校の理解をいただきながら「具体的取組」にございますように小学生を対象に運動種目に応じた指導者による直接指導を66回、児童1,700人に直接指導を実施したことで、目標を3割程度上回る結果となっております。今年度の取組みの詳細につきましては、3月に開催されました第2回

区政会議におきまして頂戴しましたご意見にも関連しますので、合わせて説明申し上げます。

資料３の裏面の方になります。番号の10番をご覧くださいませ。番号の10番読み上げます。「意見。子どもの体力向上事業について、アスリートが学校で子どもたちに水泳や走り方、鉄棒等を教える取組みであるが、去年と今年を比較してどれだけうまくなったかなどについて、なかなかわかりにくい。全国や大阪市でも子どもの体力測定の結果が出されていることから、この事業による体力向上について何か検証されてはどうか」というご意見を頂戴いたしました。対応内容、右のところにあるんですけども、別途お手元に資料をご用意しております。こちら表が付いている４枚ものの資料なんですけれども、こちらは教育委員会が公表している全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果であるんですけども、残念ながら調査項目の多くが全国平均を下回っているという状態になっています。

このような状況をふまえて、各校の方では、先生というプロフェッショナルの皆様方が目標を立てていらっしゃいます。「子どもの体力向上事業」なんですけれども、区が学校のサポート役として、児童が運動することの楽しさをつかんでもらうきっかけづくりというところで取り組むというスタンスで実施しているものでございます。種目も多様でございますから先生方も得手不得手あるのは当然のことと思いますので、単に授業を実施するだけでなく、委託事業者を交えてのノウハウをフィードバックするための意見交換会というものを実施しているところでございます。合わせて先ほど申し上げましたとおり、よりよい事業とするために、実際に授業を受けた児童、先生方、事業者の声を聞きながら、多面的に評価、改善に努めてまいりたいというふうに考えております。

続けて資料３の９についても説明させていただきます。こちらは「プログラミング教育支援事業」へのご意見でございました。地域におけるプログラミング教育支援事業。これ新規事業なんですけれども、「実施時期はいつか、夏休みなのか、対象者は

誰なのかなど、これから詳しく決まるということである。実施に当たっては区役所と学校でよく相談されて、委員にも内容を教えていただきたい」というものでございました。最も普及しておりますプログラミングソフトでスクラッチというのがあるんですけれども、こちらを使ったゲーム製作講座をまず実施します。また別に、ロボットに自分で動作入力を行うプログラミング講座と、地域からの支援ボランティアを要請する講座を一本化した事業の合わせて2事業をモデル事業として実施する予定でございます。先週の12日にプロポーザル、つまりコンペによりまして受託事業者を決定しましたので、具体的な進め方につきましてはこれから学校、事業者と詰めてまいります予定なんですけれども、実施期間といたしましては夏休みということで考えているところでございます。

最後にこれらの事業をよりよく実施していく、どうやっていくのかという工夫を入れる点につきましては、お手元の参考資料、今年度の実施のポイントの4ページのところに記載をしております。資料の上段のところに学校等との連携強化があるんですけれども、こちらでは国際理解教育の推進と、プログラミング教育のポイント、そして資料の下段では子どもの体力向上事業のポイントをそれぞれ記載しておりますので、ご確認いただければというふうに思います。ちょっと駆け足になったんですけど、教育部分についての説明については以上でございます。

【田中部会議長】 ありがとうございます。では、続きまして。

【岸野児童・保健担当課長代理】 それでは子育て関係の説明について、私は児童保健担当の岸野と申します。座らせていただいたままで説明の方させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、資料2の5ページの方をご覧くださいと思います。「具体的取組み2-2-1、子育てネットワーク構築支援事業」ということで、平成30年度の達成状況ですが、業績目標としまして、身近な地域で子育て相談できると感じている子育て中の区民の割合というもので、目標数値としましては75%以上を掲げておりました。実績

としましては、76.3ということで、若干ではありますが上回ることができました。こちらのアンケートの対象ですが、乳幼児健診に来られた皆さん方にアンケートでお聞きしたということで、実際に子育て中の皆さん方を対象にご意見の方をお聞かせいただいたところです。さらに具体的な取組みとしましては、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブの登録状況ということで、29年度末が1,784名だったのが30年度末では2,014名です。また、クラブに入っていた方に店舗での割引などの特典を設けておりまして、それに協賛をいただいているお店の数なんですが、29年度末が22店舗が30年度末で42店舗、現時点では46店舗まで増加させることができました。さらに今週末の土曜日にたまたま今年度のイベントを開催するんですが、ひがしなりっ子すくすく・つながるフェアということで、こちらの方は区内の教育、保育施設の皆さん方にお集まりいただいて、来場者の方に一同に自分の気になる保育所でありますとか、幼稚園の生の先生の声聞いていただけるイベントを開催する予定となっております。昨年度も153世帯の皆さん方にご参加いただいております。

次のひがしなりふれあいサークル大・集・合なんですが、こちらは昨年度大阪府北部地震が発生したために中止させていただきました。それ以外にひがしなりっ子すくすく・つながる運動会でありますとか、子育て世帯を中心に様々なイベントに取り組んでいるところです。特に子育て世帯の皆さん方にご意見を聞きますと、なかなか情報が伝わりにくいというようなお声を非常にお聞きしますので、昨年度はフェイスブックによる子育て事業の啓発や周知でありますとか、メールマガジン、こちらの方も毎月1回、さらに臨時で9回発信させていただいているところです。さらに母子健康手帳交付時並びに3か月健診並びに転入時に、ひがしなり子育て安心ブックを配布させていただいております。東成区で行われております子育てに関する取組みやイベントを掲載しております。また、工夫しておりますのが、一番中開きのところに区内の公園の位置やでありますとか、公園にこういった遊具があるか、こういうものが地図でわかるような冊子の方を配布させていただいているところです。

資料3の方に移っていただきますと、こちらの方、昨年度の区政会議においていただきました意見への対応状況ということなのですが、番号の方11番の方をご覧いただきたいんですが、先ほどご説明させていただきましたすくすく・つながるクラブに関する部会意見をすぐに反映させていただき、広報紙への協賛店舗の掲載を通じて、区民、商店へのPRを行い、協賛店舗の大幅拡大につながるなど、結果が出たことは部会委員にとってもやりがいにつながったという貴重なご意見の方いただいたところです。部会でいただいた様々なご意見やアイデアにつきましては真摯に受けとめさせていただき、実行に向けた検討を行ってまいります。引き続き活発なご議論をお願い申し上げます。また、すくすく・つながるクラブの協賛店舗の拡大につきましては、地域の中で子育て家庭を見守っていただける場所が増えるということになりますし、子育てしやすい環境の広がりにつながっていくものと考えておりますので、引き続き店舗の拡大の方もめざしてまいりたいと考えておるところです。

さらに参考資料の5ページの方をご覧いただきたいのですが、令和元年度の事業の実施ポイントということで、繰り返しになりますが、すくすく・つながるクラブの会員の拡大を図るために協賛店舗を充実させること、地域全体が子育てを見守り、応援して行くつながりづくりを支援してまいりたい。特に、子育て情報を積極的に発信することで安心して子育てができる環境の充実を図ってまいりたいと考えております。これまでは、フェイスブック、メールマガジン、ホームページなどで情報発信を行ってまいりましたが、今年度はさらにツイッターの方も活用して子育て情報の発信に取り組んでまいりたいと考えています。以上、簡単ではありますが、説明の方、終わらせていただきます。

【田中部会議長】 ありがとうございます。ただいまの説明を受けて、皆さんからご意見やご質問をいただきたいと思います。ホワイトボード、ちょうど福永委員の後ろにあります、そこに意見を共有させていただきます。これまた私、発表しなありませんので、発表しやすいようなお答えを一つよろしく願いいたします。

最後の議長でございます。頑張りますのでよろしくお願いいたします。

それでは、勉強会で自由に意見を交換していただく時間ですので、一旦議事の記録は中断して始めてまいります。どなたからでも結構ですので、何か意見がございましたらよろしくお願いいたします。

<部会での自由な意見交換>

【田中部会議長】 すみません、ちょっと時間が。まだ黙っておられる人が一人いてはるんで、お聞きしたいと思います。

【福永委員】 中本地区の福永なんですけれども、最初にサークルの話が出てきたと思うんですが、サークルを運営している側とするとちょっと残念やなという思いで聞かせていただきました。いろいろなところで宣伝もさせてもらったりとかしてやっているんですけれども、そういうふうを感じる方がおられるというのは努力が足りないのかなというふうにも感じました。ただ、7月3日に区民センターの方でサークル大集合というのを、11校下のサークルを集めたイベントをやるしますので、もしお時間があるのであれば来ていただけたらどれだけ活発に活動しているかというのがわかっていただけるんじゃないかなと思います。

【山口委員】 今の説明は子育てサークルですか。

【福永委員】 子育てサークルです。11校下それぞれ子どもさんがたくさん来ているところとか少ないところとかもあるんですけれども、各校下で自分たちのカラーを出してやって欲しいという形で運営しています。一つのルールに縛られてしまうとそのカラーが出ないので、例えば人数が少なくても手厚く対応してあげて欲しいとか、逆に人数が多いのであればお母さん方に任せるといような形もあるよというようなことでやってまして、それぞれルールが決まった方がやりやすいということもあるかもしれないんですけれども、東成は自由にやっていこうというような形でさせていた

だいています。

あと、先ほどの外国人の方のお話も中学校の方で聞かせていただいたんですけども、お母さんが全くしゃべれなくてお子さんは多少しゃべれる。たまたま学校協議会の時にお母さんが訪問に来られた時に通訳の方が来られて、通訳の方を介して子どものことについて話しするというタイミングだったんですけども、学校の先生が困っているのは通訳をつければ話が通じる部分もあるんですけども、外国人ルールじゃないですけど、何時に来てくださいというルールが絶対守られないと。学校としてはそういうところからやっていかないといけないという部分と、文化の違いとかあって、向こうの夏休みの期間だけに日本に来る子がいて、その子が授業中にペットボトルの水を飲んだ時に先生が注意したら何で注意されるのかがわからなかったというところを、あなたの国ではオーケーやけどここは日本やからと。日本ではこれはあかんねんという説明を幾らしても子どもが、「僕にはそれはわからない」と言って、なんでそれで注意されないといけないのか、というようなことがあって、難しいなというのを感じたとおっしゃってたので、いろいろ手探りでやっていかないといけない部分というのはたくさんあるなと思うんですけども、確実に外国人の方が増えてくるというのであれば、やっぱり地域としてもやらないといけないことと学校と協力しながらやらないとということもあるのかなというふうに思いました。

【田中部会議長】 ありがとうございます。

【東方委員】 こういうソフトを夏休みにやられるということなんですけれども、学年が限定されてやるんですか。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 スクラッチに関しましては4年生から6年生まで。ロボットの方につきましては既に試験的に、深江小学校さんなんですけれども、PTAの方が力を入れてくれてはって5年生を対象に授業をやっているんです。その延長でそちらの方は進級した6年生を対象にしてやっていくという形で今お話の方は進めているところです。

【東方委員】 今は夏休みだけという限定でやられる予定ですか。今後の授業に反映してくるということはあるんですか。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 先生方もこれから、2020年から必修化になりますから、教えるためのノウハウみたいなものをその授業の中で見ていただいて、その手法とかいうところをしっかりとって帰っていただく。

【東方委員】 現在いてはる先生が指導していけるようになるための授業ということですか。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 参考にしていただけるように。

【東方委員】 それが夏休みだけということ限定やね、今のところ。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 そうですね、今回は。

【東方委員】 授業に関わるということはないんですか、今のところ。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 直接授業に関わるものではないんですけれども、ノウハウというところ、教え方と言うんですか、というのを学んでいただいて持って帰っていただく。合わせて地域の中でも協力してくださる方も作って行って、そこの方々も学校の方の授業の方とかにも協力できるような形を作っていきたいなと思います。

【東方委員】 夏休みって何回ぐらいやる予定ですか。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 スクラッチの方は実際にゲームをつくるんですけれども、それは5回の予定をしています。ロボットの方は2回なんですけれども、それとは別に「ボランティアの方の『養成』」という言い方あれなんですけれども、講座を別に2回予定しているところでございます。

【山口委員】 宝栄の方でもめっちゃめっちゃ校長が熱心で、学校協議会に行ったらまずはロボット見せつけられます。だから授業以外でもやっているんじゃないかな。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 やっておられます。先生方を対象にしたパソコン教室も予定されていると伺っていますし、今言いましたスクラッチの方は

宝栄小学校さんでやってもらう形になります。

【東方委員】 先生の現実、夏休みだけで指導していけるだけの力が付くかというのは後で何かとりはるんですか。

【松穂まちづくり・教育支援担当課長代理】 実際、やってみてどうだったかというのは感想とかというのはとらせてもらいますし、ただ、それをやっただけでできるようになるかと言えば恐らくそうじゃないと思います。

【東方委員】 ということは、2020年から始まるということは、それまでにそういう指導できる人を全部育てていかなあかんのだしょ。計画的にそれまでに何回かしていく計画があってこの計画。

【井上まちづくり・教育支援担当課長】 あくまでも区役所はお手伝いです。先生方は教育委員会の中に教育センターという研修施設がありますので、そこでそういう受講をされていきます。全ての先生がそういうことを経験されて本番を迎えるということになるので、区役所がやっているのは一つの切り口としてこういう指導法もあるよという見せ方をしているという形です。全部の先生に受けて欲しいというわけじゃ。とてつもないお金が足りないです。

【東方委員】 一応サポートみたいな感じなんやね。

【井上まちづくり・教育支援担当課長】 そうです。

【東方委員】 でも面白いですよ。

【田中部会議長】 ありがとうございます。6分でまとめなあきませんので、後ろの白板の方を見ていただけますか。部会の意見として取り上げないかんのですが、どうでしょうか、何か。私のとこ今出てたのはほとんど教育関係の方に力がいってまして、子育ての方は。いろんなことで私たちが言うたやつをこの二年間で、例えば協力店を増やしていただいたとか、入ってくる子どもも増えてる、置いていただくのをもっとあちこち置いたらどうやねんと言うたら、3か月健診やそんなとこまで置いていただいて。こっちの方は私よくやっていただいたなとこれは喜んでおります。これ前回も

言わしてもらたと思いますけども。こっちの方ね、向かって左の方から一つか二つご意見を出していただきたいと思います。教育環境と子育て支援の充実ですとか、教育環境でまず行きましょうか。

【永門委員】 すみません、その前に。東成区で外国人が登録されている人は何%ぐらい。

【田中部会議長】 あと3分しかない。今さら調べに行ったら間に合わん。それは次にしましょう。ここから出なくてもいいですよ。私がしゃべるだけですから。皆さん、お気軽にどれがええって言うていただいたら。

【末光委員】 外国人の話でいいんじゃないですか。

【田中部会議長】 外国人の話をまず、それをどう言うかやな。

【末光委員】 課題としていろいろあったけど、現状、実情がわかってない時点だけの課題がこんなんがあるんじゃないかが挙がってきただけで、結論にも至ってないし、状況把握もできてないので、課題が抽出されたというぐらい。多分私たちの班だけじゃなくていろんなところで同じような課題はあると思うんです。

【田中部会議長】 外国人の方が校区に住まわれたり学校に通われたりする人が増えてきているが、現実はどういうような状態なのか我々はわからない。ただ、外国人がたくさん入ってきたという課題。

【井上まちづくり・教育支援担当課長】 外国人の転入増に伴う影響とか、そういう言い方がいいですかね。

【茶谷委員】 うちの子どもは逆に外国に行っているからインターナショナルって言われてますけど。

【田中部会議長】 ほなインターナショナルで。発表の時インターナショナルって言ってるけど外国人です。

【東方委員】 いいんちゃうん。

【山口委員】 外国人で行きましょ。1階の区役所の受付に外国人って書いてるから

ね。

【田中部会議長】 外国人で行きますよ。外国人の転入増に伴う…

【末光委員】 様々な課題。教育とか住居であるとかコミュニティとか。

【田中部会議長】 教育文化か…学校イコール教育やろね。教育等、課題は抽出されたけども、現状がわからないので課題が出ただけ。で、これをどないせえっていうのや？

【東方委員】 とりあえずどのぐらいの子どもさんがいてるか調査してもらわないと。

【田中部会議長】 現状、把握してってできるんですか。学校に聞いたりされるんですか。そんなんできないですよ。

【井上課長】 聞いてもわからないんで。国籍は個人情報だから教えてくれないですから。住民登録上、それを出せるのかどうかですね。

【田中部会議長】 それも無理ですよ。

【東方委員】 外国人でよろしいじゃないですか。

【大藪係長】 東成区の概要みたいな形でしたら毎年。

【井上まちづくり・教育支援担当課長】 答えがあるんやったらあるで次回でいいんで。早くまとめましょ。

【大藪係長】 そうですね。

【田中部会議長】 東成区の概要でいいから教えてください。それでよろしいですか。

【山口委員】 茶谷さん、うちほとんどいませぬね。

【茶谷委員】 いないですね。地域の学校に行かれるんかどうかもわからないですね。

【末光委員】 インターナショナルスクールに行ってるかしらんしな。

【茶谷委員】 インターナショナルスクールありますか？

【末光委員】 ありますよ。

【茶谷委員】 大阪ですか。

【末光委員】 大阪にはないですね。

【東方委員】 あったと思う。茨木市か向こうのほう…

【田中部会議長】 他どうですか？もう下におりやなあきませんが、ダッシュで降りていただくんでしたらあと1分何とかします。プログラミング教育、これももう、先生するんじゃなく子どもにするんですよ

【茶谷委員】 先生は、ノウハウを持って帰ってもらおう。

【田中部会議長】 外国人の転入について、幼稚園、小学校への受け入れ状態なんかがわかったら教えて欲しいな、でよろしいか。絶対教えてやなしに。ほんでこっち、子育ての方はよく頑張っていたいただきましたってまた言いますよ。

【委員全員】 はい。いいですよ。

【永門委員】 店舗数倍増よかったですよ。

【東方委員】 宣伝もうちょっとやっといってください。

【末光委員】 でも、店は倍になってるし。

【田中部会議長】 これ前回体育の成績が悪かったというのこれ一つ報告をもらってます。これは一つ検討しておいてください。見てください。これもちょっと言わないとあかんな。